

■ おとなの学校 ～ 毎週水曜日に開催中(開校中) ～



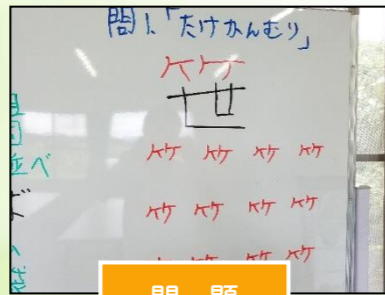
桜があちこちで満開になり寒さも和らぎ、とても過ごしやすい陽気になって来ました。しかし、未だ新型コロナウイルスの感染拡大は続いています。緊急事態宣言は解除になっても変異株が発見されるなどして、まだまだ気を緩めることは出来ない毎日です。このような状況がずっと続くと気分もふさがちになり、体もスッキリしません。外に出るのが怖い気がしますが、家の中に引きこもると体力も低下しマイナスのリズムになりがちです。電話や SNS でも友人や知人との会話ややり取りを行うだけでも随分違うと思います。また、散歩をしながら草花を鑑賞することは運動にもなりリフレッシュ出来るのではないのでしょうか。

当事業所では、2階の多目的ルームにて「おとなの学校」を毎週水曜日の午後1時30分より開催しております。桜の綺麗な時期ですが、もちろん入学式などはございません。昔のことを思い出す「回想法」なども活用し、「思い出す、考える、喋る、動く」ことにより脳を活性化させます。専用テキストを使い、国語、算数、社会など授業形式で行います。もちろん、因数分解など頭を悩ます問題はございません。

感染症予防の為、マスク着用、換気、手指消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保等々、万全の体制を整えています。心身共にリフレッシュさせる為に、参加されてみては如何でしょうか。



テキスト



問題



テキスト内

教本をもとに脳トレで活性化!!

お問い合わせ先：☎ 0493 (81) 5101
(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：大下、平岡

■ なめ福通信

◆ スタッフブログのご案内

広報誌ではお伝えする事ができない各事業所の取り組みや、日々の様子を載せています。是非一度下記 URL にてご覧ください。

<https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>



満開の桜です。散り桜も趣きがあります。



今年は見逃しません。牡丹の開花。

編集後記



「新型」と聞くと、車のモデルチェンジを真っ先に思い出す事も少なくなりました。条件反射でつい「今日の感染者の数」を推測してしまいます。新型コロナ時代も2年目に突入し、新しい生活様式にも大分慣れてきました。さすがに夏場のマスク着用は慣れませんでした。今年もやってくるのですね。感染症の収束を心から願ってやみません。

編集担当 平岡



なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>

なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811
埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7
TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102



新年度への思い

なめがわ地域 福祉支援センター
センター長 清水 みゆき

4月といえば進学、進級、就職、異動などで新たな活動が始まる時期です。

1年前には新型コロナウイルスがこれほどまでに拡大し収束しないことは想像もしていませんでした。マスクやトイレットペーパーなどが店頭から消えて不安に駆られた時期もありました。私たちは感染拡大の中で今までとは違った日常の過ごし方を学び生活の知恵を受けたのだと考えることもできます。

昨今は変異株のコロナウイルス感染が広まり地震も多発しています。自然災害は予測不能で身を守るためには日常的に想定した準備をしておくことが大切です。なめがわ地域 福祉支援センターでも感染対策や災害対策において、より一層力を入れて対応することにしています。

災害対策といえば私がこどもの頃はサザエさんの漫画に出てくるカツオとワカメの寝室の場面で見ると、翌朝着る洋服を畳んで枕元に置いていたのを記憶しています。地震があった時などにすぐに着替えられるのと、逃げる時に持って行けるからと教えられていました。今は情報網が発達しており災害の準備を行っている人も多いかと推測しますが、靴や車、机の引き出しやロッカー等に飲料水や食料、懐中電灯等を常備しておくなど一人ひとりができる対策も必要です。

さて今年4月から3年に一度の介護報酬が改定されます。介護保険制度の開始から20年が経過し、その間サービスは多様化、複雑化していることを実感しています。介護保険制度は2000年4月に社会全体で高齢者の生活を支えることを目的としてスタートしました。しかし介護保険制度だけで本人が望む生活を実現させるのは難しいことです。近隣の方やボランティアさん、所属していたサークル活動など地域の方々とのマッチングで、その方の望む生活を支えたく存じます。ただそれ以前に自分がどんな生活を望むかを提案しないと実現は遠のいてしまいます。個人が望む生活のために地域が協力し合い発展していくことを願い、当センターでも協力できることを考えていく所存です。

■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 森林



定期巡回では1回の訪問が短時間の為、利用者様とゆっくりお話をする時間が少ないです。その為、洗濯物を干す時間や、洗濯物を畳む時間もお話する貴重な時間です。今日の天気や、テレビの話、最近あったことなど様々な事を話します。時にはご主人との思い出話も……。毎回複数回訪問する為、利用者様にも顔を覚えていただきやすく、顔見知りになるまでが早いのが定期巡回の良い所です。



利用者様とのコミュニケーションで、私たちも元気をいただいています。支援内容はもちろん、利用者様とのコミュニケーションも大切にして何でも気軽に話せる関係を構築し、今後もサービスを提供しながら精神面のサポートもさせていただきます。コロナ禍ではありますが、手洗い・手指消毒を徹底し、今後も訪問させていただきます。

お問い合わせ先：☎ 0493 (81) 5101 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：関口

■ 相談支援事業所 なめがわ



障がいがある方の生活を支える福祉サービスは、種類がたくさんありとても複雑です。その複雑なサービスをうまく使うためのお手伝いを提供するのが相談支援です。

生活している中で困ったことや福祉サービスを利用する時に相談する窓口は、市町村の福祉の窓口が一般的なのですが、県や市町村が指定した「相談支援事業所」でも無料で相談することができます。以下のようなことはございませんか？

- 生活するのに困っているけど、自分ではどうしたら良いかわからない
 - 自分だけでなく家族もサービスは受けられるのだろうか
 - 福祉サービスを利用したいけど、何をどう始めればよいかわからない
 - 障がい者支援施設に入っているが、ひとりで暮らすことは出来るのだろうか
- このような悩みや疑問に対応するのが「相談支援事業所なめがわ」です。

当事業所には福祉の仕事をしたことがあり、障がい者支援について専門的に勉強をした「相談支援専門員」があなたの相談に対応します。

福祉サービスは、自分らしく希望を持って生きていくために是非利用していただきたいサービスです。こんなことを聞いたら恥ずかしいなんて考えなくても大丈夫です。遠慮せずご連絡ください。

お問い合わせ先：☎ 0493 (53) 4761 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：秋谷

■ 訪問看護ステーション 森林



新年度も始まり、桜も咲き始めて暖かな春の陽気となってきました。4月は新たなスタートや出会いの季節でもあります。当ステーションにも新たな仲間が加わりましたので、ご紹介いたします。

◆ 新任職員紹介



平野 順一 看護師 (写真右)

2月に埼玉森林病院から異動となりました。皆様の療養生活を支えることのできるよう精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。

青柳 正代 看護師 (写真左)

1月に入職いたしました。早く訪問看護の現場に慣れ皆さんに安心してサービスを受けていただけるよう努めます。不慣れな点もあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

◆ 訪問サービス中のひとコマ

訪問リハビリ



※利用者様の掲載許可をいただいております

外で過ごすのが気持ち良い季節になりましたね。訪問リハビリや看護師による散歩同行の支援も行っております。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。体調に関して心配な時、訪問看護時には是非ともご相談ください。皆様が安心して過ごせるようスタッフ一同支援して参ります。



病气や障がいを持った方が住み慣れた地域で、より良く生活していく為に、看護師やリハビリ専門職が皆様のご自宅へ訪問し、療養生活をサポートいたします。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：☎ 0493 (56) 4876 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：佐々木